参考２

こども若者★いけんぷらす「あなたにとって、スポーツってどんなもの？」
オンラインアンケート・対面（いけんひろば）結果概要

【実施期間】
オンラインアンケート：2026 年 6 月 1 日～6 月 14 日
対面：6 月 14 日

【参加者数】
オンラインアンケート：75 名
（小学生：12 名、中学生：17 名、高校生年代：18 名、大学生年代・20 代：28 名）
対面：38 名
（小学生：17 名、中学生：３名、高校生年代：11 名、大学生年代・20 代：７名）

【意見概要】※オンラインアンケート・対面で寄せられた意見のうち、類似するものを整理・集約

気軽にスポーツを体験できる機会

- いろいろなスポーツを気軽に体験出来たら、自分の好みや適性に合ったスポーツが見つけられるのではないか。
- 子供の頃から、ゲームを取り入れた運動など、厳しくではなく、緩い運動や楽しむためのスポーツをしたら、運動が苦手な人でも楽しくできると思う。
- 日常の中に無理なく取り入れられる仕組みづくりや、多様なスポーツに触れる機会の提供。

身近にスポーツができる環境

- 身近にスポーツをできる施設（公園も含む。）や機会があると行きやすい。

一緒にスポーツをする仲間とのつながり

- （スポーツが好きな理由として）新しい友達が増えたり、協力・団結する楽しさを感じられる。
- 部活動やチームのみんなと練習したり、試合で応援する・応援してもらうとき（が楽しい）。
- 身近に目標となる人や一緒に練習する仲間がいれば続けられると思う。

学校体育関係

- チームスポーツで仲間と協力したり、目的を持って、どうしたら改善できるのかを考えるなど、頭も体も使い、集団で行う意義が感じられる体育があれば良い。
- 学校の体育は、先生が少なかったり一人ひとりに寄り添えなかったりするので、地域でボランティアを募集したりして、楽しく運動できる場所を作っていくことが大事。
- 学校の体育の授業では、大人になっても運動を楽しめるように、価値観や運動習慣をつけることや、いろいろな競技を知るきっかけになるので、みんなが楽しいと思える体育の授業ができたら、子供時代から認識を変えていけるのではないかと思う。

部活動・地域クラブ関係

- 部活動は本気の人向けだけでなく、ある程度リラックス・気分転換にやれるような制度を作っていけると良いのではないか。
- お金がかかることにハードルがあるので、行政が支援をすることが大事だと思う。

広報活動の強化

- 健康促進の啓発。
- 広報活動の強化が必要。（例えば、運動のポスターは走る系の絵が多いが、いつもと違うスポーツの絵を見せたら、ポスターを見た人もやってみようと思うかもしれない。）
- スポーツならではの一体感や達成感、スポーツマンシップの良さを伝える。